

取組概要

蒲江翔南学園では、「小中一貫での学びを通して、自他の良さを認め支え合い、夢の実現に向け、最後まで粘り強く取り組む児童生徒の育成～翔南プライド～」を目指し、9年間を見通した学習指導、4・3・2のユニット制による行事等の取組を推進している。

工夫・ポイント

【学校マネジメントの工夫】

- ◆年度を跨ぐ検証とSWOT分析により学校の実態を捉え、育成を目指す資質・能力を明確にし学校の教育目標の設定や家庭地域と共有している。
- ◆ユニットごとに重点的取組を定め、検証・改善を行う仕組みを整えている。
(客観的データを用いた達成状況・取組状況の確認と児童生徒の実態把握⇒ユニット・各担当での意見交換⇒検証の視点を確認⇒改善方策の検討⇒管理職による調整⇒全教職員で共有⇒取組へ)

働き方改革の工夫

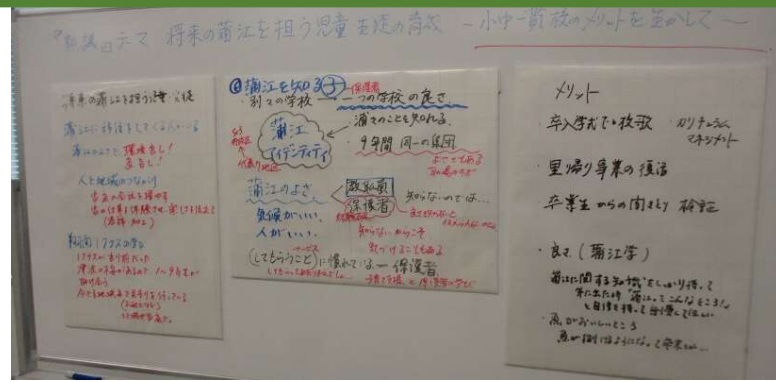
- ◆残業時間数のお知らせにより、業務時間に対する意識化を図っている。
- ◆欠席や連絡事項の共有にスプレッドシートを利用したり、職員会議資料の電子化を図っている。(ICT活用)

パフォーマンス課題の解決に向けた端末活用と協働的な学び



単元の終末にパフォーマンス課題を位置付け、自分で選択した課題解決に向けて取り組む

CSにおける熟議内容の可視化→今後の取組に反映



個に応じた支援（教具の工夫）



自分の考えをつくるための教具を用意

対話的な学びを位置付け



- ・自分の考えを出し合って比較したり、関連付けたりして再構成する対話の場の設定
- ・生徒指導の3機能を意識した授業づくりに取り組む